

# 「障害者虐待の背景と予防」

## ～ジャーナリストの視点で読み解く虐待～

高知県のソーシャルワーカー3団体（一般社団法人高知県社会福祉士会・高知県医療ソーシャルワーカー協会・高知県精神保健福祉士協会）では7月の「ソーシャルワーカーデー」にあわせて、H29年度より虐待の早期発見と対応力の向上を目的とする研修を開催しています。

今年度は3年連続テーマの締めくくりとして「障害者虐待」をとりあげます。講師には、毎日新聞の記者として、いじめ、ひきこもり、児童虐待、障害者虐待等について豊富な取材経験のある、野澤和弘氏をお招きします。ジャーナリストの視点から見た障害者虐待の社会的背景や要因、対応における課題、予防の方法等について講演をいただきます。

ジャーナリストとしての豊富な取材経験と独自の分析視点での講演は、私たち専門職にとって多くの新鮮な気づきがあることと思います。医療介護福祉関係者はじめ、広く多数の皆様のご参加をお待ちしています。

**日 時：令和元年7月20日（土）13:30～17:00(受付13:00～)**

**場 所：高知県人権啓発センター 6階ホール(本町4丁目1-37)**

※駐車場がありません。お車の場合は付近の有料駐車場をご利用ください。

**内 容：1) 講演「障害者虐待の背景と予防」 13:40～15:20**

**野澤 和弘 氏（毎日新聞社論説委員）**

1983年毎日新聞入社、津支局、中部報道部（名古屋）を経て92年に東京社会部へ。いじめ、引きこもり、薬害エイズ、児童虐待、障害者虐待などに取り組む。社会部副部長、夕刊編集部長などを経て2009年から論説委員（社会保障担当）。

元千葉県障害者差別をなくす研究会座長、社会保障審議会障害者部会委員、内閣府障害者政策委員会委員。

主な著書に「障害者のリアル×東大生のリアル」「条例のある街」（ぶどう社）、「あの夜、君が泣いたわけ」（中央法規）、「廃墟の中の希望」「なぜ人は虐待するのか」（Sプランニング）、「わかりやすさの本質」（NHK出版）

**2) グループワーク（主催団体会員のみ） 15:30～17:00**

**参加費：資料代 500円**

**主 催：高知県ソーシャルワーカーデー実行委員会**

（一般社団法人高知県社会福祉士会・高知県精神保健福祉士協会・高知県医療ソーシャルワーカー協会）

**【問い合わせ・申込み】**

**高知県社会福祉士会 事務局**

**〒780-8570 高知市丸ノ内4丁目1-3 7丸の内ビル3階**

**FAX 088-855-3612 TEL 088-855-5921**

**E-mail kochicsw@leaf.ocn.ne.jp**

所属機関名			
連絡先		電話	F A X
申込代表者氏名			
	氏 名	職 種	会員種別 (全該当項目に○を記入)
1			社福 精神 医療S 非会員
2			社福 精神 医療S 非会員
3			社福 精神 医療S 非会員
4			社福 精神 医療S 非会員
5			社福 精神 医療S 非会員
6			社福 精神 医療S 非会員
7			社福 精神 医療S 非会員
8			社福 精神 医療S 非会員
連絡事項			

※この申込用紙は主催する SW 三団体のホームページからダウンロードできます。

一般社団法人 高知県社会福祉士会 (<http://kochicsw.main.jp/wp>)

高知県医療ソーシャルワーカー協会 (<http://www.kochi-msw.com>)

高知県精神保健福祉士協会 (<http://www.kochi-psw.com>)

※締め切り：令和元年 7 月 5 日（金）E-mail 又は FAX にてお申込み下さい。

申し込み者多数の場合、調整をお願いする場合があります。ご了承ください。

令和元年 5 月吉日

関係機関 各位

高知県ソーシャルワーカーデー実行委員会  
一般社団法人高知県社会福祉士会 会長 徳弘 博国  
高知県医療ソーシャルワーカー協会 会長 中本 雅彦  
高知県精神保健福祉士協会 会長 宮本 彰  
(公印省略)

令和元年度ソーシャルワーカーデー関連事業について  
(参加および広報協力をお願い)

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より高知県のソーシャルワーカー 3 団体（一般社団法人高知県社会福祉士会、高知県医療ソーシャルワーカー協会、高知県精神保健福祉士協会）の活動にご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

私たち、ソーシャルワーカーは生活上、さまざまな困難や課題をかかえている人びとからの相談に応じ、その解決のために必要な福祉サービスの利用を支援したり、関係するさまざまな専門職や事業者、ボランティアと連携を図り総合的に援助したり、サービスが足りないときはそのサービスを開発することなどを行う社会福祉専門職です。また、住みやすい社会づくりや人権を尊重する地域社会づくりもソーシャルワーカーは重要な役割として担っています。

さて、私たちは平成 21 年から「海の日」をわが国の「ソーシャルワーカーデー」として創設し、ソーシャルワーカーの活動を推進・普及する活動を行っています。

この度、高知県ソーシャルワーカーデー実行委員会は令和元年度ソーシャルワーカーデー関連事業として、下記の研修会を開催することとなりました。

つきましては、本事業及び研修会の趣旨にご賛同の上、貴機関及び関係団体への広報のご協力をいただくと共に、研修会へご参加いただけるようご配慮の程よろしくお願い申し上げます。

末筆ではございますが、貴機関のより一層のご発展を心よりお祈り申し上げます。

記

研修名：令和元年度ソーシャルワーカーデー関連事業 虐待対応力向上研修

テーマ：「障害者虐待の背景と予防」～ジャーナリストの視点で読み解く虐待～

講師：野澤和弘氏（毎日新聞社 論説委員）

日程：令和元年 7 月 20 日（土）13:30～17:00（受付：13:00～）

場所：高知県人権啓発センター 6 階ホール（高知市本町 4 丁目 1-37）

対象者：一般参加及び SW3 団体の会員 ※一般参加は講演のみ

資料代：500 円

申込方法・問い合わせ先：別紙案内チラシ参照（締切 7 月 5 日）

主催：高知県ソーシャルワーカーデー実行委員会（一般社団法人高知県社会福祉士会、高知県医療ソーシャルワーカー協会、高知県精神保健福祉士協会）

以上